参加無料

府市合同セミナー2014

■主催　（地独）大阪府立産業技術総合研究所
（地独）大阪市立工業研究所
（公財）大阪市都市型産業振興センター(大阪産業創造館)

進化するプラスチック(機能化・信頼性向上・試作開発)
ー高付加価値化のための一貫した技術支援ー

プラスチック産業では、究極的な利用に応えることのできる高機能化、高寿命化に欠かせない信頼性向上、迅速な製造に対応できる試作方法が強く望まれています。

本セミナーでは、これまでにない機能発現を目指した有機無機ハイブリッド材料創成技術や金属・無機／樹脂の複合構造形成に欠かせない接着技術、耐候性向上のための微量分析技術やデバイス製造時の不良原因を防ぐ帯電防止技術、迅速な試作開発で注目されている 3Dプリンター技術を取り上げます。産技研と市工研が幅広く行っているこの産業への一貫した技術支援のキーとなるこれらの技術開発の研究成果をご紹介します。

開催日時　平成26年　2月 7日（金）
１３：００～１７：００

開催場所　大阪産業創造館　4F
イベントホール
大阪市中央区本町１丁目 4-5

主催　(地独)大阪府立産業技術総合研究所、
(地独)大阪市立工業研究所、
(公財)大阪市都市型産業振興センター

参加費　無料

定員　先着１20 名

申込方法　大阪産業創造館ホームページ
よりお申込み下さい。
http://www.sansokan.jp/events/eve_detail.san?H_A_NO=16552

＜会場へのアクセス＞

お問い合わせ

（お申込み・会場関連）大阪産業創造館　TEL：06-6264-9800
URL：http://www.sansokan.jp/
（講演内容関連）　(地独)大阪府立産業技術総合研究所　総合受付
大阪府和泉市あゆみ野 2-7-1　TEL：0725-51-2525　FAX：0725-51-2509
URL：http://tri-osaka.jp　ネット相談をご利用下さい。
（合同セミナーの講演についてと明記して下さい。）
(地独)大阪市立工業研究所　企画部　白井・藤田
大阪市城東区森之宮 1-6-50　TEL：06-6963-8011　FAX：06-6963-8015
E-mail：mail@omtri.or.jp　URL：http://www.omtri.or.jp

プ ロ グ ラ ム

１．あいさつ　13:00～13:10

（地独）大阪府立産業技術総合研究所 理事長　古寺雅晴

２．有機無機ハイブリッドより創出した機能性材料の開発事例　13:10～13:50

（地独）大阪市立工業研究所 電子材料研究部 ハイブリット研究室長　松川公洋

有機材料と無機材料の垣根を越えた有機無機ハイブリッド材料は、新しい機能材料として注目されています。ナノ粒子などの無機ナノ構造材料と有機高分子との界面を制御して得られるハイブリッド材料において、我々は実用化を視野に入れて、基礎からの研究を進めています。本講演では、光学、電子、触媒の分野で役立つ新規ハイブリッド材料について、企業との共同開発事例を中心に紹介します。

３．樹脂と金属などとの接着性の向上　～含硫黄化合物を利用した事例の紹介～　13:50～14:30

（地独）大阪市立工業研究所 環境技術研究部 高機能樹脂研究室長　平野　寛

電子材料や自動車用部品などにおける軽薄短小化や高性能化に伴い、これまでにない機能の発現が必要となり、種々の材料を組み合わせた複合体の利用が進んでいます。そのため、樹脂と金属などとの接着性向上が強く求められています。そこで、添加するだけで効果を発揮できる含硫黄化合物による樹脂の金属への接着性改善の例を中心に種々の異材料との接着の研究例について紹介します。

４．プラスチック添加剤の分析　14:45～15:25

（地独）大阪府立産業技術総合研究所 化学環境科 主任研究員　小河 宏

近年、プラスチックは様々な分野で利用され、その信頼性・耐久性に対する要望は益々高まっていますが、用いられる添加剤は多岐にわたり、しかも微量であるため、分析することが困難です。そこで、ポリカーボネートおよびポリプロピレンを対象として添加剤の分析を行い、さらに耐候性試験および屋外暴露した試料を用いて酸化防止剤の減衰挙動を調査したので、これらの事例について紹介します。

５．プラスチックの帯電性評価について　15:25～16:05

（地独）大阪府立産業技術総合研究所 製品信頼性科 研究員　平井 学

一般にプラスチックは電気絶縁性が高いことが特徴であり、幅広い分野で使用されていますが、容易に帯電し、汚れの付着や印刷不良など様々な静電気に関する問題を引き起こします。しかし、帯電防止は、目的レベルまで発揮しない場合もあり、研究開発の段階や品質管理でもその効果の検証が求められています。そこでプラスチックの帯電性評価について概説し、産技研での研究内容の一部を紹介します。

6. 3Dプリンター（RP：ラピッドプロトタイピング）技術の概要と取組み　16:05～16:45

（地独）大阪府立産業技術総合研究所 加工成形科 主任研究員　吉川忠作

ＲＰはメディアを通じた情報を中心に、最近注目をあつめ、多くの人々への認知度が高まっている技術分野です。３次元形状データを基に、３次元形状モデルを出力するＲＰ技術の概要として、造形の原理、各種ＲＰ方式、デジタル領域ものづくりとの関係、昨年導入の粉末積層プラスチックＲＰについて解説します。ＲＰ技術分野に対する取り組み事例および今後の可能性についても紹介します。

7. あいさつ　16:45～16:55

（地独）大阪市立工業研究所 理事長　中許昌美